

県内各地で鶏卵品評会や乳牛共進会が開催されました

(鶏卵品評会)

鶏卵品評会とは、消費者に高品質な卵を届ける目的で開催され、養鶏生産者が丹精込めて生産した鶏卵を比較し、卵の品質を評価するものです。

令和7年度は、藤沢市(9/16)、相模原市(11/9)、横浜市(11/14)、寒川町(11/15)、相模原市(11/22)、綾瀬市(11/22)で鶏卵の品評会が行われ、普及指導課職員が審査を担当しました。

各地域の鶏卵品評会において、卵の形、色、重さが均一で、外観や卵白の盛り上がり等、素晴らしい卵が出品されました。

養鶏情勢は、飼料価格の高騰や猛暑の影響など厳しい状況が続いているが、そのような状況下においても、品評会や共進会に出品する農家の方々の新鮮で高品質な鶏卵を消費者に届けるための努力が表れています。

(乳牛共進会)

乳牛共進会とは、乳牛の資質向上と改良増殖を進めることで酪農の安定的発展を目指すことを目的として、乳牛の体型を比較し評価するものです。

令和7年度は、藤沢市(9/29)、平塚市(9/30)、厚木市(10/3)、茅ヶ崎市(10/8)、伊勢原市(10/31)の共進会が、集合又は巡回で行われました。各市の共進会で上位となった牛は、11/23に綾瀬市畜産市場で開催された神奈川県乳牛共進会に出品され、その資質の高さを競いました。

酪農情勢は、飼料や資材の価格高騰により非常に厳しい状態が続いている。しかし、共進会に向け、搾乳等の飼養管理や自給飼料生産の合間を縫って、良好なコンディションを保ち調教を行うなど、日頃の努力と熱意が感じられ、本県の酪農経営の底力が強く感じられました。



普及指導課では、各地域で市町等が主催する共進会等において審査や審査補助を行うほか、日ごろの飼養管理技術や飼養環境の整備について改善支援を行っています。